

シラバス(2012.6.20.)改訂 2 版 2012 年度前期:共通教育(統合教育科目) 2 単位

## 「4 つの力」スタートアップセミナー



担当教員： 長澤 多代（ながさわ たよ）

三重大学附属図書館 研究開発室

時 間： 水曜 5/6 時限（13:00～14:30）

対 象： 1 年生（工学部・建築学科）

教 室： PBL 演習室 3-4（環境・情報科学館 3 階）

連絡先： [nagasawa.tayo@mie-u.ac.jp](mailto:nagasawa.tayo@mie-u.ac.jp) もしくは [ICI43543@nifty.com](mailto:ICI43543@nifty.com)

TEL 059-231-9892（内線 9892） FAX（059）231-9086（共用）

研究室： 附属図書館 3 階（わからない場合には、カウンターでたずねてください。）

オフィス・アワー： 火曜(学期中) 12:00～13:30（予約の必要はありません）

これ以外の時間帯については、事前に予約することが望めます。

個人のページ： <http://www.lib.mie-u.ac.jp/lab/nagasawa/>

主な参考文献：

花見楨子, 鹿島 恵『大学生のためのレポート作成ハンドブック』三重大学共通教育センター, 2006, 45p. [附属図書館の請求記号(以下, 同様): 002/Ka86]

加藤秀俊『取材学: 探求の技法』中央公論社, 1975, 184p. (中公新書, 410)  
[002/Ka86]

三輪眞木子『情報検索のスキル: 未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003, 214p.  
(中公新書, 1714) [007.5/Mi68]

佐藤望, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦『アカデミック・スキルズ』慶応大学出版会,  
2006, 160p. [377.15/A28]

初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト』東京電機大  
学出版局, 2009, 127p. [377.9/F92]

日本図書館協会『情報の達人』日本図書館協会, 2007, DVD. [視聴覚, 007.3/J66]  
図書館へ行こう(第 1 巻), ゼミ発表をしよう(第 2 巻), レポート・論文を書こう(第 3 巻)

パスファインダー(授業資料ナビ): 「「4 つの力」スタートアップセミナー」, 「建築計画 I」

<http://www.lib.mie-u.ac.jp/pathfinder/index.html>

TA(ティーチング・アシスタント):

加藤 雅之(かとう まさゆき) 工学研究科建築専攻・修士課程 1 年

\*\*\*\*\*@m.mie-u.ac.jp

## ◆ 授業の目的

- ・ 主体的学習者としての自己認識、さまざまなコミュニティの構成員としての自己認識をもつ。
- ・ 感じる力、考える力、コミュニケーション力、それらの統合力としての生きる力（4つの力）の意義を理解し、実践する。
- ・ グループ活動を通して4つの力の素養を習得する。

## ◆ 学生の到達目標

- ・ 主体的学習者としての自己認識、さまざまなコミュニティの構成員としての自己認識をもつ。
  - ・ 感じる力、考える力、コミュニケーション力、それらの統合力としての生きる力（4つの力）の意義を理解し、実践する。
  - ・ グループ活動を通して4つの力の素養を習得する。
- （各回の到達目標については、毎回の授業で提示します。）

## ◆ 授業の方法

講義, 演習(個人, ペア, チーム), チームによる口頭発表とレポート, 教室外の学習によって進めます。

## ◆ 授業計画

	授業日	内容
第1回	4月11日	<p>「大学で学ぶとは」</p> <p>◇説明：大学で学ぶとは、三重大大学の教育目標</p> <p>◇説明：授業科目の概要（授業計画、授業の内容、課題、成績評価の方法）</p> <p>◇演習：アイスブレイキング（自己紹介）</p> <hr/> <p>キーワード：教養教育、専門教育、学習スキル、自己紹介</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題A：自己紹介を完成させる。</p> <p>◇個人課題B：大学生活を含む日常生活の中で「なぜ？」と思ったり、もっと知りたいと思ったりしたことを記録する。</p> <p>◇個人課題：学習ポートフォリオ（総括評価）の「これまでに学んだこと、できること」について、別紙を参照して説明する。</p> <p>◇読書課題：もっとも印象に残ったフレーズを抽出して、その理由を簡潔に説明する（以下、同様）。和田寿博ほか「大学での学びとは何か」『学びの一步：大学の主人公になる』新日本出版社、2003、p.14-44. [377.15/Ma43]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p> <hr/> <p>授業の終了後に、環境・情報科学館、ラーニング・コモンズのツアーをします（希望者のみ）。</p>

第 2 回	4 月 18 日	「ノートづくりの方法」
		◇講義：高校の授業と大学の授業の違い，ノートづくりの心構え， 有用なノートをつくるために，作成したノートを読み直すポイント， マインド・マップ
		◇講義・演習：授業のスタイル別のノートの取り方
		キーワード：ノートづくり，情報収集・整理
第 3 回	4 月 25 日	教室外の学習
		◇個人課題 C：1 週間分の授業における授業のスタイルとノートづくりを記録・ 省察する。
		◇読書課題：初年次教育テキスト編集委員会編「講義とノートー事実」『フレッ シュマンセミナーテキスト』東京電機大学出版局，2009，p.34-45. [377.9/F92]
		◇学習ポートフォリオを作成する。
第 3 回	4 月 25 日	「テーマを設定する方法 ①」
		◇講義：テーマのしぼり方，ブレインストーミングの方法
		◇演習：ブレインストーミングによるアイディア・マップの作成
		キーワード：課題探求のプロセス，ブレインストーミング，マインド・マップ
第 4 回	5 月 9 日	教室外の学習
		◇個人課題 D：アイディア・マップを作成する。(CiNii, Japan Knowledge を必 ず利用すること)
		◇読書課題：北川達生「発想力」「表現力」『フィンランド・メソッド入門』フィ ンランド・メソッド普及会，2005，p28-35，52-55. [372.386/Z6]
		◇学習ポートフォリオを作成する。
第 4 回	5 月 9 日	5 月 1 日のオフィス・アワーはありません。5 月 2 日は休講です。
		「テーマを設定する方法 ②」
		◇演習：ブレインストーミング
		◆演習：作成したアイディア・マップの発表
第 4 回	5 月 9 日	キーワード：課題探求のプロセス，ブレインストーミング，マインド・マップ
		教室外の学習
		◇個人課題 E：チームで設定しているテーマに関する問いを検討する。
		◇読書課題：溝上慎一「勉強会，自主ゼミをやろう！」『大学生の学び・入門：大 学での勉強は役に立つ！』有斐閣，2006，p.119-134. [377.15/Mi93]
第 4 回	5 月 9 日	◇学習ポートフォリオを作成する。

第 5 回	5 月 16 日	<p>「情報を探索する方法①：図書館を用いた情報探索」</p> <p>《集合場所は附属図書館の入り口（館内）です》</p> <p>◇講義：学習支援機関としての大学図書館</p> <p>◇演習：図書館ツアー</p> <hr/> <p>キーワード：図書館サービス，参考調査，相互貸借，日本十進分類法</p> <hr/> <p>教室外の課題</p> <p>◇個人課題 F：文献を調査する：図書，雑誌，新聞，参考図書，視聴覚資料</p> <p>◇読書課題：長澤多代「卒業生からの Message」『大阪樟蔭女子大学図書館報 こかげ』No.1, 2007.5, p.6.</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 6 回	5 月 23 日	<p>「レポートの骨組みを作成する方法」</p> <p>◇講義：レポートの構造，序論（はじめに）の構造，段落の構造</p> <p>◇演習：「全体の構成」・「はじめに」の作成</p> <hr/> <p>キーワード：序論，本論，結論，中心文（トピック・センテンス）</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 G：レポートの骨組みを作成する。</p> <p>◇読書課題：大島弥生ほか「文章を組み立てる」『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』ひつじ書房, 2005, p.41-48. [816.5/P58]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 7 回	5 月 30 日	<p>「情報を評価・整理する方法：情報の取捨選択・読み解き・記録」</p> <p>◇講義：テキストの読み方，情報を評価する方法，記録の取り方</p> <p>◇演習：収集した情報の評価</p> <hr/> <p>キーワード：情報の取捨選択，批判的な読み，書誌情報の記録</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 H：チームで取り組んでいるテーマに関する資料（図書，雑誌論文，新聞記事，Web 情報）を論理演算を用いて探索し，その書誌情報を記録する。</p> <p>◇読書課題：佐藤望ほか「本を読む：クリティカル・リーディングの手法」『アカデミック・スキルズ』慶応大学出版会, 2006, p.68-84. [377.15/A28]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 8 回	6 月 6 日	<p>「情報を探索する方法②：ヒト，もの，場所から情報を得る」</p> <p>◇講義：インタビューする方法</p> <p>◇講義・演習：観察する方法</p> <hr/> <p>キーワード：フィールドワーク，観察，インタビュー</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 I：三重大学内の学習場所を 1 つ選択して観察し，記録する。</p> <p>◇読書課題：梅棹忠夫「発見の手帳」『知的生産の技術』岩波書店，1969，p.21-32. (岩波新書，F93) [002/U73]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 9 回	6 月 13 日	<p>「発表する方法」</p> <p>◇講義：発表の種類，発表の準備と方法</p> <p>◇演習：レジュメの作成</p> <p>◆演習：中間発表</p> <hr/> <p>キーワード：レジュメ，発表の形態，発表の手順，質疑応答，リハーサル</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：長谷川寿一「口頭発表の作法と技法」小林康夫，船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会，p.234-253. [002/C47]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 10 回	6 月 20 日	<p>「自分の立ち位置を知る：大学教育の仕組み」</p> <p>《集合場所は三翠会館です》</p> <p>◇講義：日本の大学の仕組み，大学進学率</p> <p>◇講義：日本の大学における教育改革</p> <p>◇講義：三重大学の教育</p> <p>◆演習：中間発表</p> <hr/> <p>キーワード：教育の質保証，学習成果，単位制度，大学史，統計</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 J：教室外の学習を記録し省察する。</p> <p>◇読書課題：絹川正吉編著「英語でリベラル・アーツ」(一部)『ICU&lt;リベラル・アーツ&gt;のすべて』東信堂，2002，p.10-17. [377.15/Sh 88 (研究室図書)]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 11 回	6 月 27 日	「レポートを作成する方法」
		◇講義：全体の構成，段落の構成，論理の展開の仕方，引用の方法
		キーワード：論理の展開，注，引用，著作権，剽窃（ひょうせつ）
		教室外の学習 ◇読書課題：花見楨子，鹿島 恵『大学生のためのレポート作成ハンドブック』三重大学共通教育センター，2006，45p. [002/Ka86] ◇学習ポートフォリオを作成する。
第 12 回	7 月 4 日	「チームで発表する／主体的な聴き手になる①」《12:30 に開始します》
		◆演習：チームによる成果の発表（発表時間 10 分＋質疑応答 5 分）
		キーワード：主体的な聴き手，他者評価，質問，多様な観点
		教室外の学習 ◇個人課題 K：他のチームが発表した内容を要約し，それぞれの「良かった点」「改善すべき点と対策」を記録する。 ◇学習ポートフォリオを作成する。
第 13 回	7 月 11 日	「チームで発表する／主体的な聴き手になる②」《12:30 に開始します》
		◆演習：チームによる成果の発表（発表時間 10 分＋質疑応答 5 分）
		キーワード：主体的な聴き手，他者評価，質問，多様な観点
		教室外の学習 ◇個人課題 L：他のチームが発表した内容を要約し，それぞれの「良かった点」「改善すべき点と対策」を記録する。 ◇学習ポートフォリオを作成する。
第 14 回	7 月 25 日	「学習活動を評価する方法 ①」
		◇講義：学習活動を評価する視点と方法
		◇演習：最終発表の評価
		◇演習：レポートの評価 《レポートの提出期限：2012 年 7 月 25 日 13:00》
第 15 回	8 月 1 日	「学習活動を評価する方法 ②」
		◇講義：課題探求のプロセスと情報の利用
		◇演習：学習活動の総括評価 《レポート（完成版）の提出期限：2012 年 8 月 1 日 13:00》
		キーワード：課題探求のプロセス，プロセスの評価

◆ 課題の提出期限と提出方法

個人課題

提出期限：次回の授業時（その他の場合には、事前に連絡をします。）

学習ポートフォリオ

提出期限：次回の授業日の前日である火曜日の午前 10:30

提出方法：共通教育事務室横のポスト（番号 22）、電子メール、FAX、Moodle のいずれか

◆ 成績評価の方法

合格の条件は、合計が 60 点以上になることです(100 点満点)。

- ① 個人課題（教室外における課題）：24 点（2 点×12 回）
- ② 学習ポートフォリオ（記録，省察）：28 点（2 点×14 回）
- ③ チームによる最終発表：20 点（口頭発表 10 点，レジュメ 10 点）
- ④ チームによるレポート（最終版）：20 点
- ⑤ 学習活動の総括評価：8 点

課題の完成度によって、減点になることもあります。

いずれの課題についても、提出期限後に提出した場合には、減点になります。

減点のルールは次のとおりです。

個人課題，学習ポートフォリオ（2 点→1 点）

レジュメ（10 点→8 点）

学習活動の総括評価（8 点→6 点）

レポート（最終版）（20 点→18 点）

◆ 大学生に求められる学習時間（「大学設置基準」第 21 条 単位）

本授業科目では、教室外の学習として 60 時間の準備学習及び復習が必要になります。

根拠は次のとおりです。

- ◇ 本授業科目の単位を取得するのに必要な学習時間の総量：90 時間  
＝単位制度によって定められた 1 単位の習得に必要な学習時間(45 時間)  
× 2 単位(本授業科目の単位数)
- ◇ 教室内における学習時間：30 時間  
＝2 時間(90 分)×15 回
- ◇ 教室外に必要な学習時間：60 時間  
＝90 時間(教室内外の学習時間)－30 時間(教室内の学習時間)

<<シラバスは学習の手引です。毎回の授業に必ずもってきてください。>>